

JR東労組盛岡

No. 77
2022年3月2日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

申8号「駅の体制見直しについて」に関する申し入れ団体交渉実施!

第1項 八戸駅の体制見直しを行う根拠を明らかにすること。

回答 当社を取り巻く環境の変化等を踏まえ、効率的な体制を構築していくため実施するものである。

【主な議論の内容】

- お客さまのご利用状況の減少やコロナによる働き方の変化によって鉄道利用も変化している。今後も維持していくためには業務改革や生産性の向上が不可欠。
- 休日勤務が常態化しているとは思っていない。
- 必要な要員は確保しているが、要員状況がひっ迫しているという社員の声があることは受け止める。

職場の現状について会社として受け止め、箇所と連携していくことを確認!

第2項 通勤者でも対応可能な作業ダイヤとし、前泊を前提としないこと。

回答 引き続き効率的で生産性の高い業務執行体制を構築していく考えである。

【主な議論の内容】

- 7時45分が一番早い始業時間となる。
- 社員の判断により前泊となってしまう実態があることは把握している。
- 前泊対象が多くなれば見直しが必要となるが、前泊前提で体制見直しを行っているわけではない。
- 管理者が社員とのコミュニケーションをとって、対応していくこととなる。
- 感染予防の観点からも、休養室を2人で使うことは考えていない。

通勤事情等は管理者が社員とのコミュニケーションを取りながら確認、把握していくことを確認。

第3項 職場の要員実態を明らかにし、窓口に対応できる要員を確保すること。また、繁忙期には3窓体制を確保できる要員確保を行うこと。

回答 業務に必要な要員は確保していく考えである。

【主な議論の内容】

- 出札、改札、輸送の現在員は、営業14名、輸送8名。窓口に対応できる要員も確保している。
- 3窓体制の判断は箇所となる。指定席予約状況を見て、勤務操配を見越しての判断となる。現在の繁忙期体制は日勤+1を配置しているが、今後も箇所の判断となる。
- これまでの実績や曜日配列も含めて、必ず繁忙期は3窓でなければならないとは考えていない。
- 今の要員状況で体制見直し後の繁忙期体制を担えるのかという不安の声がある。
- 切符を売る事だけが窓口の役割ではない。eチケットなど様々なお客さまが窓口に関心に来る。そのような状況もお客さまの利用状況として考えていただきたい。
- 箇所の声は認識したので、箇所と連携して必要な体制を引き続き構築していく。

職場実態を訴え、不安要素が解消できる施策としていくべきであることを主張!

全3項目議論終了。働く者の視点から働きがいのある施策に創りあげよう!